

—— 芦北町議会だより ——

☆うたせ☆

みんなで守ろう きれいな海と町

2026年7月11日(土)の午前7時30分から、
御立岬海水浴場と鶴ヶ浜海水浴場にて海岸
ボランティア清掃が実施されました。



- 6月定例会の概要 P2
- 6月補正予算の概要 P3
- 一般質問 P4~6
- 議案の審議結果・議会交際費の公表 P7
- 正副委員長研修会・議会の動き P8

第85号

令和8年8月18日発行



発行／熊本県芦北町議会 編集／議会広報委員会
TEL (0966) 83-9640・FAX (0966) 82-2894
印刷／(有)芦北総合印刷

議会事務局

令和8年

6月定例会

令和8年第3回6月定例会が
6月9日に招集され、12日までの
4日間の会期で開催しました。



会 期

6月9日(火)



6月12日(金)

4日間

一般会計の継続費繰越計算書などの

報告6件をはじめ、令和8年度一般

会計及び特別会計の補正予算4件、

芦北町予約型乗合交通等の運行に関

する条例など条例制定・改正等3件

の合計13件の議案が上程され、審議

の結果、すべて原案のとおり全会一

致で可決しました。

また、最終日の12日には、下写真の

3人の議員が登壇し、自治公民館建

設等への補助やまちづくり支援事

業、肥薩おれんじ鉄道佐敷駅の管理

に関してなど、町政全般にわたり一

般質問を行いました。

すべての議案を

全会一致で可決

一般質問を行った議員



大山 議員

主な質問事項

- ・猛暑対策としてのエアコン設置・買換支援について
- ・肥薩おれんじ鉄道と連携した利用環境向上について



横山 議員

主な質問事項

- ・地域コミュニティを未来へつなぐために
- ・担い手不足と地域活動への支援を問う



楠原 議員

主な質問事項

- ・公民館の解体を補助対象に追加検討
- ・田川地区残土処理場計画に適切な行政関与を

令和8年

一般会計補正予算

一般会計総額

125億5,917万円

歳入・歳出 5,917万円追加

道路や防災、教育、木育事業など、
町民の暮らしの安心と豊かな未来づくり
のために、5,917万円を追加しました。

主な事業

① 道路新設改良費 道路災害防除工事

町道道川内田浦線の法面に
亀裂が生じている為の法面補修工事費

1,700万円

② 中学校費 木質空間設置工事

佐敷中学校に整備する木質空間設置工事費

880万円

③ 社会教育費 コミュニティセンター費 木質空間設置工事

コミュニティセンター内に整備する
木質空間設置工事費

880万円

④ 交通対策費 シニア世代タクシー利用 支援補助金

免許返納などにより運転免許を
持たない方の外出機会を支援
するため

312万円

⑤ 企画費 地方創生アドバイザー 業務委託料

専門的知見を有する事業者から
地方創生に関する事業構築などの
提案や助言を受け、課題解決及び
関連施策の推進を図るため

200万円

⑥ 非常備消防費 消防団員退職功労金

消防団員退職功労金の対象者が
当初見込みより増加したため

183万円

⑦ 社会教育費 コミュニティセンター費 木育備品購入費

木育のための備品購入費

160万円

⑧ 林業振興費 あしきた木育フェス ティバル補助金

あしきた木育フェスティバルを
開催するための補助金

150万円

⑨ 中学校費 木質空間備品購入費

佐敷中学校に設置する木質
空間に整備する備品の購入費

149万円

⑩ 教育費 コミュニティセンター費 木質空間備品購入費

コミュニティセンター内に
設置する木質空間に整備する
備品の購入費

149万円

質問1

公民館の解体を補助対象に追加検討！

質問2

田川地区残土処理場計画に適切な行政関与を！



楠原 清照 議員

質問1

公民館の解体を
補助対象に追加検討！

楠原議員
地区公民館建設補助金の運用の現状はどうなっているのか。

竹崎町長
各行政区域、公民館の自主的な取組みが民主主義の原点であると認識している。

岩田教育長
今後公民館の解体等を補助対象に追加することを検討する。

永富スポーツ文化振興課長
表1、2、3のとおり。

【まとめ】公民館解体については補助対象に追加し適切な予算措置のもとスピード感を持って実施を！

(表1) 地区公民館建設補助金の制度概要

新築・改装
補助対象経費の1/2 上限額800万円
修繕・改修
補助対象経費の1/2 上限額100万円

(表2) 地区公民館建設補助金実績(過去5年間・対象公民館17)

新築・改装	公民館新築1	補助金額	800万円
修繕・改修	エアコン取替・トイレや床の改修・雨戸取付・玄関スロープや手摺取付・天井の修繕・換気扇取替ほか	補助金額	404万2千円

(表3) 想定される新たな補助対象メニュー

公民館解体・屋外舗装・屋外灯設置・畳替え・LED照明化・水道設備改修など

(表4) 田川残土処理場計画の概要

開発面積	7.4ha	受入予定土量	100万㎡	場所	芦北町大字田川字上赤江
関連する 許認可	盛土造成	宅地造成及び特定盛土等規制法(通称：盛土規制法)			熊本県知事許可
	林地開発	森林法			

(表5) 本町の本事業計画に対する関わりについて

建設課	安全対策や事業の進捗状況を注視し地域住民の安全安心に資する対応を行うよう努める。
農林水産課	地元区長や地区説明会で出された要望を踏まえた上で県に「意見書」を提出する。地域住民の安全安心のためしっかり対応する。

楠原議員
田川地区残土処理場計画における本町の関わりについて伺いたい。

質問2

田川地区残土処理場計画に適切な行政関与を！

竹崎町長
法令に基づいて粛々と進めていくべきものであるが、開発行為においては、周辺住民の安全安心の担保や健康上の問題、環境配慮等が大事である。

島宮建設課長
県や町が行う工事で発生する残土を安定的に受け入れることができる処理場として有用である。また災害時にも有用性が高い。以下、表4・5のとおり。

福田農林水産課長
森林法に基づく林地開発許可制度は森林以外へ転用する一定規模以上の開発行為に必要な許可である。以下、表4・5のとおり。

【まとめ】大規模開発に対応した安全安心に資する独自条例の制定を！



横山 貴之 議員

質問1

地域コミュニティを未来へつなぐために ～担い手不足と地域活動への支援を問う～

田代 企画財政課長
人口減少や少子高齢化により、役員のなり手不足は課題と認識している。電子申請の導入や配布物の削減など、負担軽減にも取り組んでいる。

山員 横議
地域活動の担い手不足をどのように認識しているか。

田代 企画財政課長
84行政区中66行政区で補助金を活用しており、交流活動や文化活動、防災活動など幅広い地域活動が行われている。

山員 横議
令和7年度まちづくり支援事業補助金の利用状況について、利用地区数および交付額はどのようになっているか。

人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティは祭りや行事だけでなく、防災・福祉・子育て・見守りなど、町民の暮らしを支える重要な役割を担っている。
一方で、担い手不足や活動の継承が課題となっている。
地域活動をどのように支え、次世代へ繋いでいくのかについて町の考えをたどした。

(表1) 令和7年度 まちづくり支援事業の内容

事業の趣旨	住民の創意と工夫による活力ある地域づくりを推進するために、行政区の活動に対し補助金を交付するもの
活動実績	夏祭り・クリスマス会・郷土芸能を継承する取り組み 花いっぱい運動・グラウンドゴルフ大会・避難訓練など
補助実績	3,681,000円（補助率：事業費の80％・限度額：50万円）



(表2) 近年の事業実績

	行政区数	補助金額
令和5年度	67	3,592,000円
令和6年度	70	3,791,000円
令和7年度	66	3,681,000円



【まとめ】地域コミュニティは、祭りや行事だけではなく、防災・福祉・子育て・見守りなど、町民の暮らしを支える重要な基盤です。今後も地域活動を支える仕組みづくりについて議論を深めてまいります！

竹崎町長
「地方は危急存亡の時代」との認識のもと、人口減少や高齢化を最大の課題と捉え、地域が力と知恵を出し合いながら取り組む必要性があると考えている。

山員 横議
地域コミュニティの維持に向けた今後の方向性について、町長の思いを。

田代 企画財政課長
地域おこし協力隊が地域活性化につながった事例もあることから、今後検討していきたい。

山員 横議
地域活動を支援する人的支援として、地域おこし協力隊の派遣を検討されてはどうか。

田代 企画財政課長
他地区の事例紹介など情報発信を行ない、自分たちの地域でも取り組んでみようと思えるよう支援していきたい。

山員 横議
制度を活用していない地区や活動が停滞している地区への支援は。

質問1

猛暑対策としてエアコン設置・買換支援を！

質問2

肥薩おれんじ鉄道と連携した利用環境向上を！



大山 弥生 議員

質問1

猛暑対策としてエアコン設置・買換支援について

山員大議

近年は猛暑の長期化に加え、電気料金をはじめとする物価高騰が家計を圧迫しており、経済的な理由から購入に踏み切れない世帯も少なくない。省エネ性能の高い機器への買い換えは熱中症予防だけでなく、電気料金の負担軽減にも繋がる。町として、エアコンの設置、買い換えに対する支援制度を検討できないか。

田代生活福祉課長

新基準対応エアコンの導入は、購入費用の負担増という側面もあるが、光熱費の削減や脱炭素への貢献に繋がり環境にプラスの側面もある。また、本町が取組む「地球環境に配慮したまちづくりの推進」とも合致している。

併せて、近年の猛烈な暑さにおいて、エアコンは熱中症から命を守るための重要な生活インフラであり、本町においても、他市町村の事例を参考にしながら、新基準対応エアコンの購入支援について、制度設計を進めていく。



質問2

肥薩おれんじ鉄道と連携した利用環境向上について

山員大議

肥薩おれんじ鉄道は本町において重要な公共交通機関であり、通学、通勤利用者をはじめ、多くの方に利用されている。利用者の利便性向上及び公共交通利用促進の観点から、駐輪場への屋根設置やトイレ環境の整備について、肥薩おれんじ鉄道と連携して整備または支援する考えはないか。

崎町長

利用環境の向上については、これまで佐敷駅において、駅東側の駐輪場や、総合コミュニケーションセンター側へ渡る通路橋を整備するなど、取り組んできた。

肥薩おれんじ鉄道は、地域住民の日常生活や観光交通を支える重要な公共交通機関であり、将来にわたり関係機関と連携し、計画の着実な進捗をさらに図っていく。

田代企画財政課長

駐輪場の屋根設置やトイレ環境の整備については、駅利用者への快適性の向上を図る観点からも、重要なものであると認識をしている。老朽化した駅舎の一体的整備なども含め、計画的に取り組んでいく。

山員大議

子どもたちの利用促進に向けて、どのような取組を進めているのか。

田代企画財政課長

肥薩おれんじ鉄道沿線活性化協議会が実施する小中学校を対象としたスクールトレイン事業の中で、佐敷駅での切符購入の体験や乗車体験、子供向けのフリー切符キャンペーンなどが行われている。

山員大議

佐敷駅の一体的整備とは具体的にどのような整備を想定しているのか。

田代企画財政課長

駅舎などの今後のあり方を基本としながら、駅舎・トイレ・駐輪場など個別ではなく、全体的な動線を考慮した一体的整備による環境づくりが必要であると考えている。

また、A1オンデマンド交通を二次交通として肥薩おれんじ鉄道に接続し、駅施設の整備と併せて、住民の皆様にとっても、町を訪れる方にとっても利用しやすい公共交通環境の形成に取り組んでいく。





審議結果

令和8年第3回
(6月定例会)

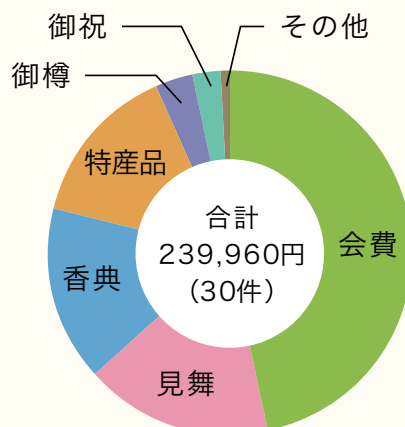


報 告	
報告第2号	一般会計の繰越明許費繰越計算書について 地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告
報告第3号	町有温泉事業特別会計の繰越明許費繰越計算書について 地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告
報告第4号	下水道事業会計の繰越計算書について 地方公営企業法第26条第3項の規定による報告
報告第5号	和解及び損害賠償額の決定について 地方自治法第180条第1項の規定による指定に基づく専決処分
報告第6号	有限会社あしきたマリンサービスの経営状況の報告について 地方自治法第243条の3第2項の規定による報告
報告第7号	有限会社御立岬の経営状況の報告について 地方自治法第243条の3第2項の規定による報告

議 案	
議案第24号	令和8年度芦北町一般会計補正予算(第1号) 概要等は、P3に掲載 可決
議案第25号	令和8年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 可決
議案第26号	令和8年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計補正予算(第1号) 可決
議案第27号	令和8年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) 可決
議案第28号	芦北町予約型乗合交通等の運行に関する条例の制定について 予約型乗合交通サービス、個別送迎サービスを運行するため 可決
議案第29号	芦北町体育施設条例の一部を改正する条例の制定について 弓道場の空調設備設置に伴う料金体系見直しのため 可決
議案第30号	財産の取得について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例 第3条の規定による 可決

令和7年度 芦北町議会交際費の公表

議会交際費は、議会活動
を円滑に進めるため、外
部との交際に要する経費
です。支出については、
社会通念上、妥当な範囲
で必要最小限に留めるよ
う配慮しています。



項目	支出額(円)	件数	内容
● 会費	112,000	15	円滑な議会運営に資する会議、研修等への参加に係る経費
● 見舞	40,000	4	病氣、災害等に対する見舞い
● 香典	37,500	2	香典、生花等
● 特産品	34,480	5	出張訪問先や町外からの訪問者等に対するPR用特産品
● 御樽	8,000	2	総会、イベント等に対する御樽
● 御祝	6,000	1	記念行事、式典、祝賀会等に対する御祝
● その他	1,980	1	上記の区分に掲げるもの以外で特に必要と認められる経費
合 計	239,960	30	

令和8年熊本地震で被災された皆さまへ

令和8年7月28日に発生した熊本地震で被害を受けられたすべての皆さまへ、心からお見舞い申し上げます。

芦北町議会としましては、被災された皆さまに寄り添い、町執行部と力を合わせ一刻も早い復旧・復興に取り組んでまいります。

芦北町議会

令和8年度 正副委員長研修会



オンライン研修の様子

7月17日金曜日、熊本県町村議会議長会主催の正副委員長研修会がオンラインで開催されました。東京都市大学大学院特任教授の齊藤広子氏が「民間を活用した空き家の利活用について」と題して講演され、全国各地での活用策について詳しく説明されました。

議会の動き

- 6月3日 議会運営委員会、全員協議会
- 4日 愛知県議会議員視察来町
- (全国火縄銃サミットについて)
- 9日 6月定例会開会(議案審議)
- 12日 6月定例会閉会(一般質問、議会広報委員会)
- 22日 水俣芦北広域行政事務組合臨時議会
- 7月17日 町村議会常任委員長・副委員長研修会(オンライン)
- 23日～24日 水俣・芦北地域振興推進協議会前期要望活動(東京都)
- 27日 議会広報委員会

次の定例会は9月開催予定です。

過去の議会会議録

過去の議会の会議録は
芦北町ホームページに
掲載しております



※最新の会議録は、都合上遅れる場合がございますので、予めご了承ください。